



## NPO PTPL “ともいき” 便り No. 200

令和3年（2021年）3月20日発行

### ■ 春分（しゅんぶん） 令和3年3月20日から4月3日までの節気

家の近くの遊歩道にいつもの春がやってきました。ユキヤナギ、コブシ、レンギョウ、モクレン……。道行く人たちは、私も含めて皆マスクをしています。その光景もすっかり目に慣れました。3月20日から4月3日まで二十四節気では「春分」の節気に入ります。春分・秋分には日の出から日没までの昼と、日没から日の出までの夜の長さが等しく、これを昼夜平分とって、陰陽の気が調和していて気候も温和であり、何ごとも順調であるといわれています。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれますが、気候も良くなっていくころです。

東京の桜の開花が3月14日（日）に発表されました。長崎、松江も同じ日に開花宣言されました。日本気象協会によると、統計開始以来、もっとも早いそうです。その理由は、「冬の前半に厳しい寒さの日があり、休眠打破（前年の夏に形成されて休眠に入った花芽が冬になって一定期間の低温にさらされて目覚めること）が順調に行われたこと、その後、季節先取りの暖かさの日が増えて、花芽の生長が促されたことで開花が早くなっていると考えられる」とのことです。（<https://tenki.jp/forecaster/deskpart/2021/03/14/11784.html>）満開になるのは開花日の1週間から10日くらい後になる予想。緊急事態宣言が解除されるのかされないのか、微妙な頃でもあります。去年は家の近くの桜の木に癒されました。今年も宣言が解除されたとしても、静かにお花見を楽しみたいと思います。

春分の日を中心とした7日間は春のお彼岸です。現世から仏の世界である彼岸（来世）に極楽往生することを祈願します。お墓まいりをされる方も多いと思います。私も父方と母方のお墓参りに行きます。夫の家のお墓は少し遠方なので夫のお兄さん、お姉さんがお参りに行ってくれます。母方のお墓は多磨霊園で、そのすぐ近くにある慈恵院というお寺に愛犬たちが眠っています。合同

墓にはいつもたくさんの花が供えられていて、気持ちが安らぎます。合同墓の隣には、「実験動物の墓」「学校小動物の墓」があります。お参りに行くとそちらにも孫たちと一緒に手を合わせています。

春分と秋分の期間に「社日（しゃにち）」という行事が行われます。「ともいき暦」によりますと、「春の社日は春分に1番近い戊（つちのえ）の日。「社」は、中国では土地の神（生まれた土地の守護神である産土神：うぶすながみのこと）の意味ですから、土地の神を祭って農事の無事を祈る日で、春と秋の二回行われ、それぞれ春社、秋社と呼び、単に社日といえば春のものを指します。春は豊作の予祝の、秋は収穫への感謝の意を込めます」とのことです。春の社日は田の神が里に下りる日であり、秋の社日は田の神が帰っていく日と考えられているそうです。農事にとってはとても重要な日だったのですね。またツバメが春に来て秋に去るので、社日を社燕（えん）とも言います。今年は春の社日は3月21日、秋の社日は9月27日です。

先日、和菓子屋さんに行ったら、おはぎの予約のチラシが貼ってありました。きな粉とあん（こしあんとつぶあん）があります。春は、牡丹の花になぞらえて「ぼたんもち」と呼ばれ、それが「ぼたもち」となったそうです。（諸説あります）秋は萩の花になぞらえて「おはぎ」と呼ばれるようになったとか。私はつぶあんが好きです。皆さんは、どのおはぎが好きですか？ 祖母はものすごく大きなぼたもちを作ってくれました。「おばあちゃんの大きなぼたもち」は私の中ですごく印象に残っています。季節の行事の記憶は、いつも幸せな気持ちにしてくれます。ぜひご家庭で楽しんでいただきたいです。

これから我が家のモッコウバラが咲き始めます。今、小さな芽がたくさんたくさん、出ています。花開く日と楽しみに過ごしたいと思います。みなさまも、くれぐれも、体調に気をつけて、春から初夏の自然を楽しんでください。

次回のお便りは立夏5月5日を予定しています。

春分の満月は、3月29日（月）です。お月様、見られるといいですね。

すとう あさえ（NPO PTPL 会員）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」日本人の感覚、ジャパネスク。

### ●桜の季節

早咲きの河津桜は、もうすっかり花を落とし葉桜です。太陽の光を浴びて緑の葉が爽やかです。河津桜の次は、やはり早咲きの寒緋桜が咲きました。下を向いて咲く色の濃いこの桜が、私は好きです。そして、3月11日（木）広島市で、全国で今年最も早くソメイヨシノが開花しましたというニュースが入ってきました。

「ともいき便り」にも書かれていましたが、東京のソメイヨシノの開花は、3月14日（日）、平年より12日早く去年と並び、最も早い開花記録です。（1953年のソメイヨシノ観測開始以来、最も早い開花宣言です。）

これからは、全国各地から開花宣言のニュースが毎日届いてくることでしょう。

久しぶりに家の近くの「自然教育園」に行きました。落葉樹の裸木もまだありますが、緑の中を歩いていると、自然の生き生きとした生命力を五感で感じます。自然のエネルギー、力に感動です。

これからの都市生活者にとっての自然との関わり方について、つくづくと考えさせられる一日でした。

## 日本 2021 ジャパネスク

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。

日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三（NPOPTPL 理事長）

■事務局便り

- 今年例年より一足早く各地から桜の開花の便りが届き始まりました。

この便りが届くころには桜も三分咲きから五分咲きのところも・・・。

コロナ禍の中、花見も規制がかかり、ゆっくりじっくりと花見を楽しむことは難しいようです。でも、花見は日本人にとっては春の風物詩。工夫しながら新しい花見を模索するのも楽しいかもしれませんね。

首都圏では緊急事態宣言も解除されましたが、コロナ禍は続きます。まだまだ緊張感を持った生活が強いられそうです。くれぐれもご自愛ください。

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」 : <http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」 : <http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/>

「タピラス」 : <http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」 : <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「日本とは、日本人とは、その心とは何か？」

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp